

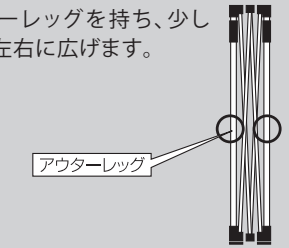
テントの組立て方法

※写真は「KA/11W」を例に説明しています。テントの大きさや形状に違いはありますが、他の規格品も組立て手順は同じです。なお各部の名称は裏面「各部の名称」を参照してください。

1



四隅のアウトターレグを持ち、少し浮かせながら左右に広げます。

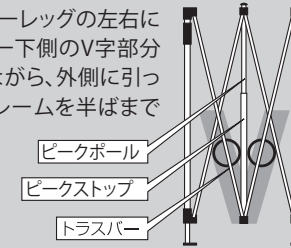


▲ 注意 フレームが引っ掛かっている場合がございますので、無理に広げないで下さい。

2



中央のアウトターレグの左右にあるトラスバー下側のV字部分を持ち上げながら、外側に引っ張り、本体フレームを半ばまで広げます。



▲ 注意 ピークボールがピークストップから抜けていると、フレームは開きません。差し込まれているのを確認して下さい。

3



天幕を袋から出し、本体フレームにかぶせ、天幕と四隅のアウトターレグのマジックテープを合わせます。



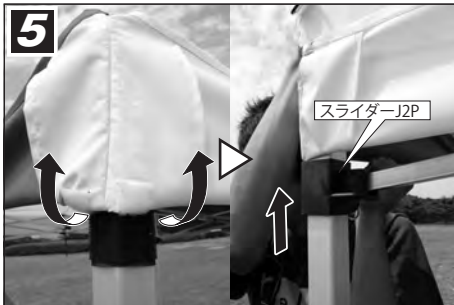
▲ 注意 裏面：マジックテープ

4



トラスバー下側のV字部分を持ち上げながら、さらに外側へ引っ張り、本体フレームを最大まで広げます。

5

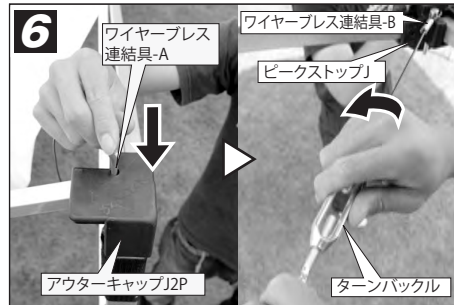


四隅の天幕を少しめくり上げ、アウトターレグにあるすべてのスライダージ2Pを、「パチン」と音がするまで押し上げます。

※ロックがかかりにくい場合は天幕の角を一度外してから押し上げて下さい。

▲ 注意 手や指をはさまないようご注意ください。

6

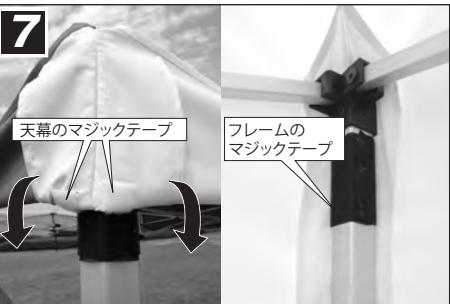


ワイヤープレス連結具-A、ワイヤープレス連結具-B、ピークストップ、ターンバックル、アウトターキャップJ2P

四隅の天幕をめくり上げた状態で、四隅のアウトターキャップJ2Pのワイヤーホールにワイヤープレスの連結具-A（ターンバックルがついていない方）を差し込みます。次にピークストップのワイヤーホールにワイヤープレス連結具-Bを差し込みます。4本のワイヤープレスを取付たら、ターンバックルをまわしてワイヤーを締め付けます。

※詳しくは右ページ「ワイヤープレスの取付方法」をご覧ください。

7



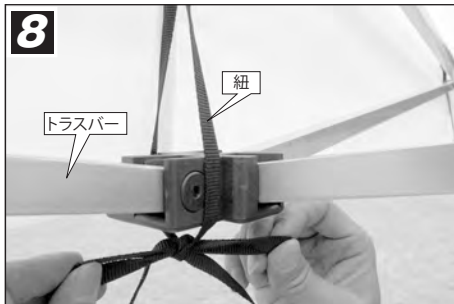
天幕のマジックテープ、フレームのマジックテープ

6でめくり上げた天幕を戻し、天幕とアウトターレグの四隅のマジックテープを固定させます。なお中央2本のアウトターレグは※1の写真のようにマジックテープを巻き付けて固定します。

※1



8



天幕の裏側についているすべての紐をトラスバーに結びつけます。

▲ 注意 紐は必ず全て結んで下さい。紐を結ばないと、万が一の降雨時に、天幕に雨が溜まり、フレームが倒壊するなどの危険があります。

9



ベース部（パッド）、ロックレバー、高さ調整レバー

ベース部（パッド）を足で踏みながら、両端のアウトターレグのロックアジャスターに付属している「ロックレバー」が解除になっている事を確認した上で（写真1）、「高さ調整レバー」を押し込みながら（写真2）、アウトターレグを伸ばします。

▲ 注意 必ず一辺に並んだアウトターレグを同時に持ち上げて下さい。

▲ 注意 ロックレバーのON-OFFの表示範囲を超えて、回すと破損する恐れがございますので、ご注意ください。

10

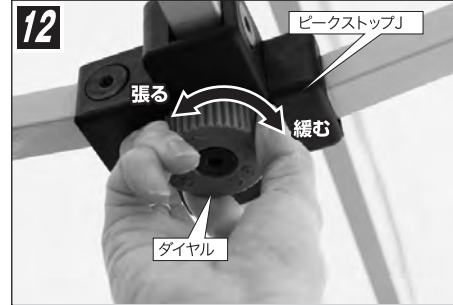


反対側のアウトターレグも同様に伸ばします。同じく中央のアウトターレグも伸ばします。

なお、テントの高さは、ロックアジャスターJの高さ調整レバーを押しながらアウトターレグを持ち上げ、伸ばすことで、3～5段階のお好みの高さに調整することができます。

▲ 注意 脚はすべて同じ長さ（水平）に揃えてください。

12



ピークストップ、ダイヤル

ピークストップの下についているダイヤルを回して、天幕の張り具合を調節します。

※出荷時は一番低い状態です。※約10cm 上下します。

▲ 注意 テントは、たるみなく「ピン」と張った状態にセットして下さい。

ここまで完成した時点で、次の事項を確認し、異常のある場合はテントのご使用を中止してください。また対応につきましては、お求めになった販売店へお問い合わせ下さい。

- 天幕が破れている、フレームが曲がっている等の異常のある箇所はないですか？
※なお、ボルトが緩んでいる場合は、付属の六角レンチで締め直して下さい。
- 天幕と本体フレームの、マジックテープの貼り付き具合は弱くないですか？
- 天幕はたるみなく「ピン」と張れていますか？雨水が溜まりそうではありませんか？
- 本体フレームの各ストッパーが、きちんと固定されていますか？

ワイヤープレスの取付方法

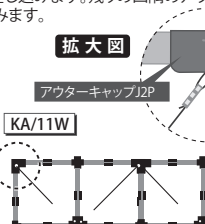
1



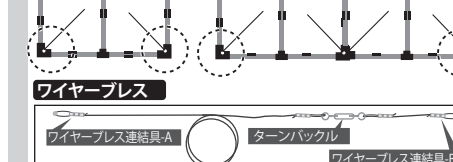
ワイヤープレス連結具-A、ワイヤープレス連結具-B、ピークストップ、アウトターキャップJ2P

ワイヤープレスが4本あることを確認後、四隅の天幕を少しめくり上げ、アウトターキャップJ2Pにしているワイヤーホールにワイヤープレス連結具-Aを差し込みます。残りの四隅のアウトターキャップも同じように差し込みます。

拡大図

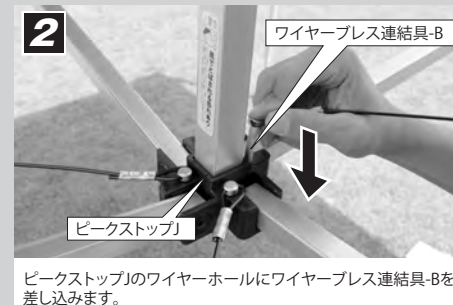


上面図



ワイヤープレス

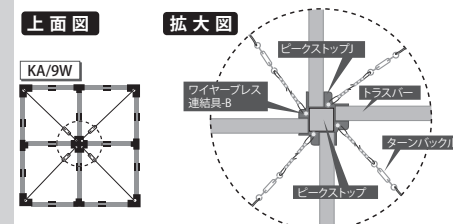
2



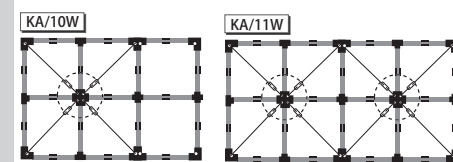
ワイヤープレス連結具-B、ピークストップ

ピークストップのワイヤーホールにワイヤープレス連結具-Bを差し込みます。

上面図



拡大図



上面図

3

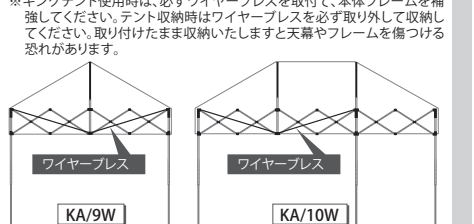


ターンバックル

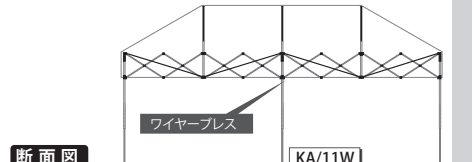
ターンバックルをまわしてワイヤープレスが「ピン」と張るまで締め付けます。

※キングテント使用時は、必ずワイヤープレスを取付て、本体フレームを補強してください。テント収納時はワイヤープレスを必ず取り外して収納してください。取り付けたまま収納いたしますと天幕やフレームを傷つける恐れがあります。

上面図

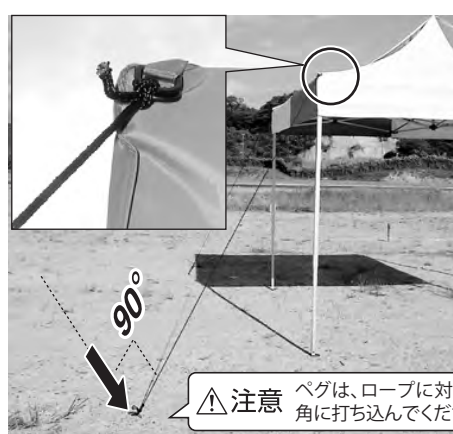


断面図



テントを固定する

●ロープを張るスペースがない場合



90°

▲ 注意 ベグは、ロープに対して直角に打ち込んでください。

天幕の四隅にあるプラスチックの留め具にしっかりとロープを結び、ベグをテントの対角線上にしっかりと根元まで打ち込みます。

※四隅以外のアウトターレグには、ベース部の穴へ直接ベグを打ちます。

●強い地面や風対策に…



ベース部（パッド）、ベグ

ロープを張るだけのスペースが無い場合は、ベース部（パッド）の穴に、直接ベグをしっかりと打ち込みます。

▲ 警告 強風などに煽られ、固定したベグやロープ、ウエイトが外れてしまい事故が起る恐れがあります。風対策用のウエイトを併用した場合でもけして過信はせず、悪天候時や天候の悪化が予想される場合、また突風が起こる可能性のある時は、テントの使用を中止してください。

地面が固くベグを使用できない場合、またベグとの併用で風対策用に、「加重プレート」「砂袋」「ウォーターウエイト」等の別売オプション品をご利用ください。

加重プレート (10kg・20kg)
積み重ねが可能。2枚以上重ねるとより安全です。

砂袋 (15kg用)
1袋に約15分の砂を入れることができます。

ウェイトバッグ (10kg用)
水でも砂でも使用可能な風対策用品です。